

2026 年 6 月 19 日

東邦ガスネットワーク株式会社

『省施工・耐衝撃性を両立した中圧 PE 管防護材』が
令和 8 年度 愛知発明表彰「愛知発明賞」を受賞

東邦ガスネットワーク株式会社（社長：柴田 喜充）は、一般社団法人愛知県発明協会が主催する令和 8 年度愛知発明表彰において、『省施工・耐衝撃性を両立した中圧 PE（ポリエチレン）管防護材』が大東電材株式会社（社長：土田 高志）と共同で「愛知発明賞」を受賞しました。

本発明は、防護シート、結束用の連結紐ならびに防護材の側板および天板で構成される防護技術であり、道路での掘削工事中に、万が一の重機などによる重要なガス用 PE 管の損傷を防ぐものです。管に被せることで密着固定できる紐付きの側板と、板状の天板を組み合わせることにより、大型掘削重機のバケットによる上面・側面からの外部衝撃から管体を守ることができます。

この連結紐による側板固定方法の採用によって、地上での取り付けが可能となり従来手法に比べ掘削幅を小さくすることで、工事時間を大幅に短縮できます。また、道路の掘削量を最小限に抑え、廃棄物の発生を抑制します。加えて、防護材は廃棄された PE 管などを原料としたリサイクル材を 100%使用しており、工事における環境負荷を大幅に低減しています。現在、国内 10 社以上のガス事業者に広く導入され、累計施工実績は 100km を突破しました。

当社は引き続き、持続可能な社会インフラを支える技術の開発を通じて、災害に強く、環境に優しい社会の実現に貢献してまいります。



〈本受賞内容の概要〉



〈表彰式の様子〉

以上